

B-1 粟ノ保タイム

粟ノ保タイムの内容

活用力の土台となる基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、毎日、15分間の粟ノ保タイムを設定し、その内容を検討、実践する。

内容は算数および国語で、知識・技能・言語を中心にする日と、考え方・表現の基礎的なスキルを中心にする日を設ける。

また、全国学力調査、県学力調査、市学力調査の結果を分析し、到達率の低い内容を補充する。

【粟ノ保タイムの内容】

曜日	学 習 内 容		
月	算数	知識・技能	【数と計算・数量関係】 計算、計算の意味、グラフの作成とよみ算数用語の習熟、
火	国語	言語	漢字、文法、慣用句、辞書の活用
水	算数	知識・技能	【量と測定・図形】 単位と量感、道具を使う技能、図形の性質、算数用語の習熟、
木	国語	考え方・表現	話し方、聞き方、短文づくり、接続詞の意味と使い方、文のまとめ、思考力を育てる問題
金	算数	考え方・表現	ドルフィン学校(既習学年の教科書問題)、図形の見方、思考力を育てる問題(例：きまりを見つける問題)、必要な情報を選択し解く問題、問題づくり

【国語】

- ①言語の土台づくり
 - ・漢字テストと練習(既習学年の漢字も含む)
 - ・文法
 - ・慣用句
 - ・辞書の活用
- ②考え方・表現の土台づくり
 - ・話し方スキル
 - ・聞き方スキル(メモの取り方も含む)
 - ・主語、述語を入れた短文づくり
 - ・文のつながり(接続詞の意味と使い方)
 - ・文のまとめ(要旨のつかみ方)
 - ・思考力を育てる問題(情報の選択とその視点)

【算数】

- ①知識・技能の土台づくり
 - ・月曜日は、領域「数と計算」「数量関係」を中心に学習する。
 - ・水曜日は、領域「量と測定」「図形」を中心に学習する。
 - ・「算数科の系統性」の表をみて、復習をする。
 - ・評価結果を記録し個人カルテを作成する。
- ②考え方、表現の基礎づくり
 - ・既習学年の教科書に出ているドルフィン学校を復習する。
 - ・きまりをみつける問題
 - ・式をみて、考え方を読み取る問題
 - ・同種、または異種の図形を複数、組み合わせた学習内容をする。
 - ・情報選択問題(例：多くの数字から、必要とする数字を選択し解く問題)
 - ・欠落した情報問題(例：マスの中の図形の面積を求める問題)